

#01

医政局

Health Policy Bureau

すべての人のための医療を目指して

私たちの使命 Our Mission

急速な少子高齢化に伴う疾病構造の多様化、医療技術の進歩等、医療を取り巻く環境が変化の中で、すべての人が良質かつ適切な医療を受けられるよう、質が高く効率的な医療提供体制の構築に取り組んでいます。

部局の所掌分野

■ 地域における医療提供体制確立

医療資源に限られる中、すべての人が良質かつ適切な医療を受けられるよう、病床の機能分化・連携の推進や地域包括ケアシステムを構成する在宅医療サービスの充実等を目指した取組を行っています。

■ 医療人材の育成・確保

医師、看護師等医療を担う人材育成とともに、病院、診療所等における勤務環境の改善や看護職員の復職支援といった、医療従事者の定着・離職防止に係る取組を行っています。

■ 医薬品・医療機器等に関する研究開発支援

医薬品・医療機器の開発には多大な時間や資金を必要とすることから、日本医療研究開発機構等を通じた研究開発の支援を行っています。



■ 医薬品・医療機器分野の産業振興

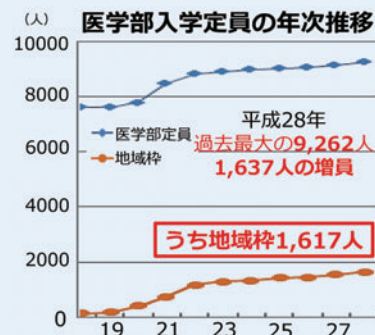
医薬品・医療機器産業は日本の成長を牽引することが期待されている産業の一つです。業界要望を踏まえた産業振興や同分野のベンチャー企業支援等を進めていきます。

Hot Topics

■ 医師偏在対策

厚生労働省は、平成20年度以降医学部定員を増加させてきましたが、医師の地域偏在、診療科偏在については、むしろ都道府県間、都道府県内で格差が広がっており、その解消が急務です。

このため、医師の少ない地域での勤務を促す環境整備や、医療提供体制確保の主役となる都道府県の体制整備等を内容とする医療法等の改正により、医師偏在対策を進めていきます。



政策紹介

01 将来に向けた医療提供体制の構築

高齢化や医療技術の発展に伴い、治療中心の医療だけでなく、慢性期疾患治療や在宅医療等による病気と共存した生活の質の向上が求められる等、医療ニーズが多様化・複雑化しています。このような状況に対応するため、病床の機能ごとの将来の必要量等、地域の医療提供体制の将来のあるべき姿を地域医療構想として策定し、病床の機能分化・連携や在宅医療等の充実を図っています。こうした取組を通じ、日本の将来に対応できる医療提供体制の構築に取り組んでいます。

03 “新たな医療”への試み

医療技術の発展に伴い、国民の医療に対する意識が変化するとともに、国民生活における医療のあり方や提供される医療内容が多様化しています。

このような“新たな医療”についても安全・安心に提供できるように、高度な医療提供を使命とした特定機能病院におけるガバナンス改革を含めた医療安全確保体制の確立や多様な情報提供手段に応じた医療広告規制の見直し等、様々な角度から適切な医療提供を確保するための取組を行っています。



02 医薬品・医療機器産業におけるイノベーション促進

日本は数少ない新薬創出国であり、最先端のものづくり技術を有するため、医薬品・医療機器産業は、経済成長を担う産業として期待されています。近年は、高度な科学技術を革新的な医薬品等の創出につなげるベンチャー企業の役割が重要になっています。こうした中、「ジャパン・ヘルスケアベンチャーサミット2017」を開催し、医療系ベンチャーへの理解を広げる等の取組を進めながら、革新的な医薬品、医療機器、再生医療等製品の開発・実用化を推進しています。



▲ジャパン・ヘルスケアベンチャーサミット2017

■ 医師の働き方改革

一般的に長時間労働が指摘される医師についても、働き方改革を進めていく必要があります。具体的には、医師の勤務実態をしっかりと把握した上で、医師の業務の他職種への移管・共同化、ICTの活用を通じた診療業務の効率化や、医

療機関の経営管理の見直し、女性医師の出産、育児支援等を推進します。こうした医師の勤務環境改善や長時間労働の見直しを通じ、「医師の働き方改革」に取り組みます。